



株式会社ブロードバンドタワー
(証券コード：3776)

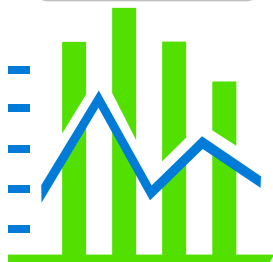


2014年6月期
第2四半期決算説明会資料

2014年2月7日

2014年6月期 第2四半期ハイライト

業績



売上高 **13,654 百万円** (前期比 +2,442百万円、+21.8%)
(※当初公表値：13,000百万円)

営業利益 **426 百万円** (前期比 -116百万円、-21.4%)
(※当初公表値：300百万円)

当初公表値は上回ったものの、新規事業立ち上げに伴う先行投資等の発生により、前期比減益

配当



中間配当金：**0.5円** (当初予想：0.5円)

期末配当金：**1.0円** (予定)

年間配当金：**1.5円** (予定)

2014年6月期 第2四半期トピックス

ブロードバンドタワーについて

ヤフーグループIDCフロンティアと共同データセンター事業を開始（7月）



ITコアより仮想化クラウドホスティング事業（GrowServer）
を譲受（8月）



山口県防府市に太陽光発電所を設置し、スマート・エネルギー
事業を開始（9月）



2014年6月期 第2四半期トピックス

連結子会社について

株式会社Lyudiaが新たな連結子会社となり（8月）、決済端末世界最大手
フランスIngenicoと日本国内総代理店契約締結（12月）



ビービーエフが中国に子会社を設立し（7月）、中国での営業
を開始（10月）



2014年6月期 第2四半期累計業績概況（連結）

(単位：百万円)	2013年6月期 第2四半期	2014年6月期 第2四半期	前期比	
			金額	増減率
売上高	11,211	13,654	2,442	21.8%
売上原価	9,359	11,374	2,015	21.5%
売上総利益	1,852	2,280	427	23.1%
(利益率)	16.5%	16.7%		
販管費	1,309	1,853	544	41.6%
営業利益	543	426	△116	△21.4%
(利益率)	4.8%	3.1%		
経常利益	416	411	△5	△1.3%
(利益率)	3.7%	3.0%		
四半期純利益	175	159	△16	△9.4%
(利益率)	1.6%	1.2%		

BBFの成長、ブランチ・アウトが前第2四半期より連結

BBF、ブランチ・アウトの売上高拡大

- ①BBF、ブランチ・アウトの売上高拡大
- ②中国での新規事業における先行投資
- ③Lyudiaの販管費が発生

2014年6月期 第2四半期要約BS・CF (連結)

(単位: 百万円)	(2013/6)	(2013/12)	(2013/6)	(2013/12)	
流動資産合計	7,530	8,009	流動負債合計	3,799	4,580
現金及び預金	2,913	2,756	買掛金	2,133	3,108
受取手形・売掛金	2,747	3,450	1年内長期借入金	525	608
有価証券	999	499	未払法人税	342	153
商品及び製品	556	924	その他	799	711
繰延税金資産	112	117	固定負債合計	2,137	2,030
その他	204	264	長期借入金	1,475	1,408
貸倒引当金	△2	△4	その他	662	622
固定資産合計	4,170	4,520	負債合計	5,937	6,610
有形固定資産	1,522	1,834	株主資本合計	5,334	5,451
無形固定資産	1,142	1,215	その他包括利益 累計額	0	1
投資その他の資産	1,506	1,471	新株予約権	29	32
			少数株主持分	399	434
			純資産合計	5,764	5,919
資産合計	11,701	12,529	負債純資産合計	11,701	12,529

(単位: 百万円)	2013年6月期 第2四半期	2014年6月期 第2四半期
営業活動CF	970	311
投資活動CF	△697	△968
財務活動CF	807	△29
現金及び現金同等物の期末残高	3,731	3,151

【キャッシュ・フロー内訳】

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
 - 税金等調整前四半期純利益 411百万円
 - たな卸資産の増加 △368百万円
 - 仕入債務の増加 975百万円
 - 売上債権の増加 △731百万円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
 - 有形固定資産の取得による支出 △616百万円
 - 事業譲渡に伴う支出 △202百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
 - 長期借入による収入 300百万円
 - 長期借入金の返済 △284百万円

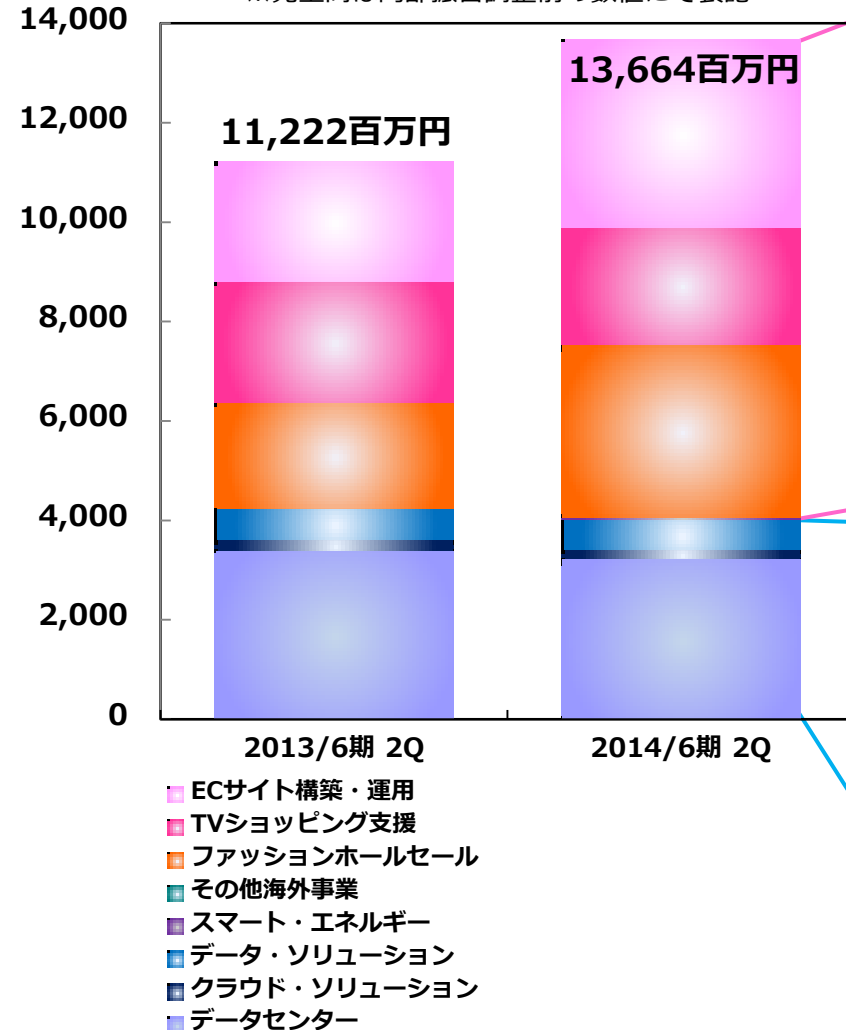
連結子会社ビービーエフ、ブランチ・アウトの
拡大に伴い、各費目において増加

All Rights Reserved.

当社セグメントにおけるサービス内容別売上（2Q累計）

(単位：百万円)

※売上高は内部振替調整前の数値にて表記



ファッションビジネスプラットフォーム事業
9,615百万円 (前年同期比+2,632百万円)

- **ECサイト構築・運用**：3,771百万円 増収 (+1,357百万円)
⇒既存ブランドの売上拡大及び新規ブランド獲得により、順調に増加。
(直近におけるサイト数：78サイト)
- **TVショッピング支援**：2,351百万円 減収 (▲92百万円)
⇒QVC及び台湾・中国向けの売上が減少
- **ファッションホールセール**：3,493百万円 増収 (+1,368百万円)
⇒前第1四半期で連結範囲に含まれていなかったブランチャ・アウトの売上が計上

コンピュータプラットフォーム事業
4,049百万円 (前年同期比▲190百万円)

- **スマート・エネルギー**：26百万円 増収 (+26百万円)
⇒当第1四半期(9月)から売上高に寄与
- **クラウド・ソリューション**：179百万円 減収 (▲32百万円)
⇒「GrowServer」が当第1四半期(8月)から売上高に寄与するものの、「c9Flex」シリーズの売上が減少
- **データ・ソリューション**：620百万円 減収 (▲7百万円)
⇒「ISILON」の売上が減少
- **データセンター**：3,223百万円 減収 (▲176百万円)
⇒既存顧客の解約等により減少

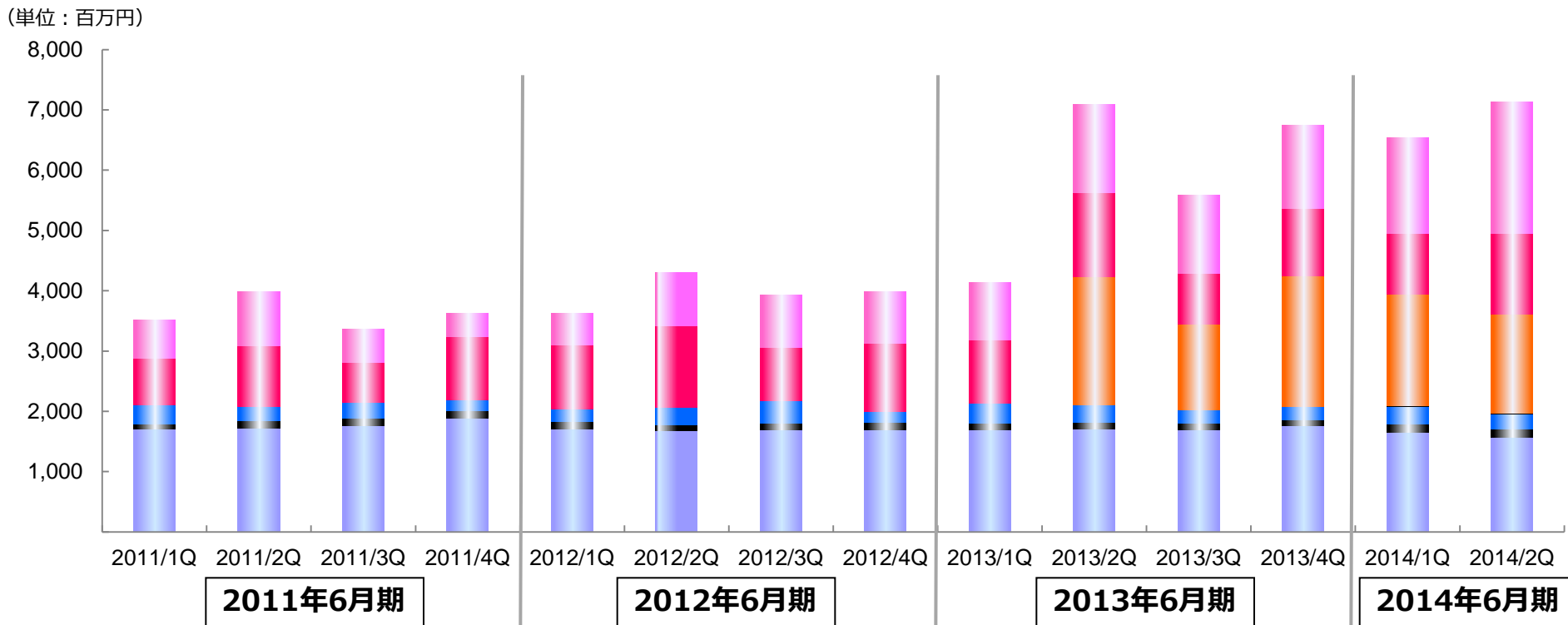
当社セグメントにおけるサービス内容別売上（四半期推移）

コンピュータ・プラットフォーム事業

- その他・海外事業
- スマート・エネルギー
- データ・ソリューション
- クラウド・ソリューション
- データセンター

ファッションビジネス・プラットフォーム事業

- ECサイト構築・運用
- TVショッピング支援
- ファッション・ホールセール



今後の基本方針

2014年6月期 通期連結業績予想

【連結】	売上高	25,000 百万円	(前期比 : +6.3%)
	営業利益	640 百万円	(前期比 : ▲35.1%)
	経常利益	640 百万円	(前期比 : ▲24.3%)
	当期純利益	240 百万円	(前期比 : ▲18.1%)
【個別】	売上高	8,200 百万円	(前期比 : ▲1.7%)
	経常利益	230 百万円	(前期比 : ▲44.8%)
	当期純利益	140 百万円	(前期比 : ▲20.0%)

※決算短信記載のフォーマットに合わせた形のため、営業利益は非開示

期初の見込みから変更なし

第2 創業期の基本方針

基本方針	経営方針	具体策
<p>既存事業の強化・拡大</p>	<p>既存データセンター事業の効率向上</p>	<p>① 都心地域連携型データセンターの提案</p> <p>② クラウドホスティング事業の強化</p>
	<p>新データセンター事業モデルの立案と実行</p>	<p>③ IDCフロンティアとの共同事業</p>
<p>新規事業の創出</p>	<p>スマートコンバージョン事業の立案と実行</p>	<p>④ スマート・エネルギー事業の開始</p> <p>⑤ 決済事業の本格参入</p>
	<p>グループ全体での海外比率の向上</p>	<p>⑥ iDC・クラウドサービス事業のグローバル展開</p>
		<p>⑦ BBF、中国市場への進出</p>

① 都心地域連携型データセンターの提案

- ・ サーバ管理はリモートで行うため、都心のデータセンターにサーバを置く必要がない。
- ・ 地方であっても東京郊外並のネットワーク速度
- ・ 危機管理の観点から東西への分散

企業のコアとなるコンピュータ・データは大手町を中心とする都心へ。

使用頻度の低い大量のコンピュータ・データは **地方** へ



②クラウドホスティング事業の強化

クラウド”で”悩みを解決
クラウド”の”悩みを解決



クラウド利用企業様

情報配信
リッチコンテンツ配信
Eコマース
コーポレートサイト
アプリケーションサービス等

BBT CIビジネスチーム クラウド・ソリューション

クラウド・インテグレーション（設計/構築）

クラウド・マネージメント（運用/障害対応）

クラウド・コンサルテーション（標準化/自動化）

パブリック・クラウド

プライベート・クラウド/オンプレミス（仮想）



GrowServer



連携

ハイブリッドクラウド



順次追加

順次追加

③ IDCフロンティアとの共同事業

IDC Frontier の2か所のiDCを利用



業界初 データセンターのモジュール化
最大12棟まで増設可能、圧倒的な拡張性
BCP/DRに最適な低災害リスクエリア
圧倒的な省エネ性能：GreenMall®



アジアン・フロンティアでの運用経験
と物理学の原理本質を追求した、最大
限の省エネを実現
広大な敷地に、600ラック搭載可能な
モジュールを最大6棟まで増設可能
年間90%以上の外気冷房を実現

④ スマート・エネルギー事業の開始

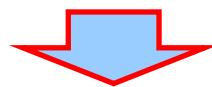
山口県防府市から太陽光発電事業を開始


東日本大震災以降、エネルギーや都市・インフラのあり方が変わり始めた。
同時に、エネルギーがITと繋がり、私たちのライフスタイルを大きく変えるスマート・エネルギー社会が誕生。

このような背景から、当社ではこれまで培ってきた技術や知見がエネルギー分野にも活用できると考え、スマート・エネルギー事業（太陽光発電所）を開始。



IT × エネルギー

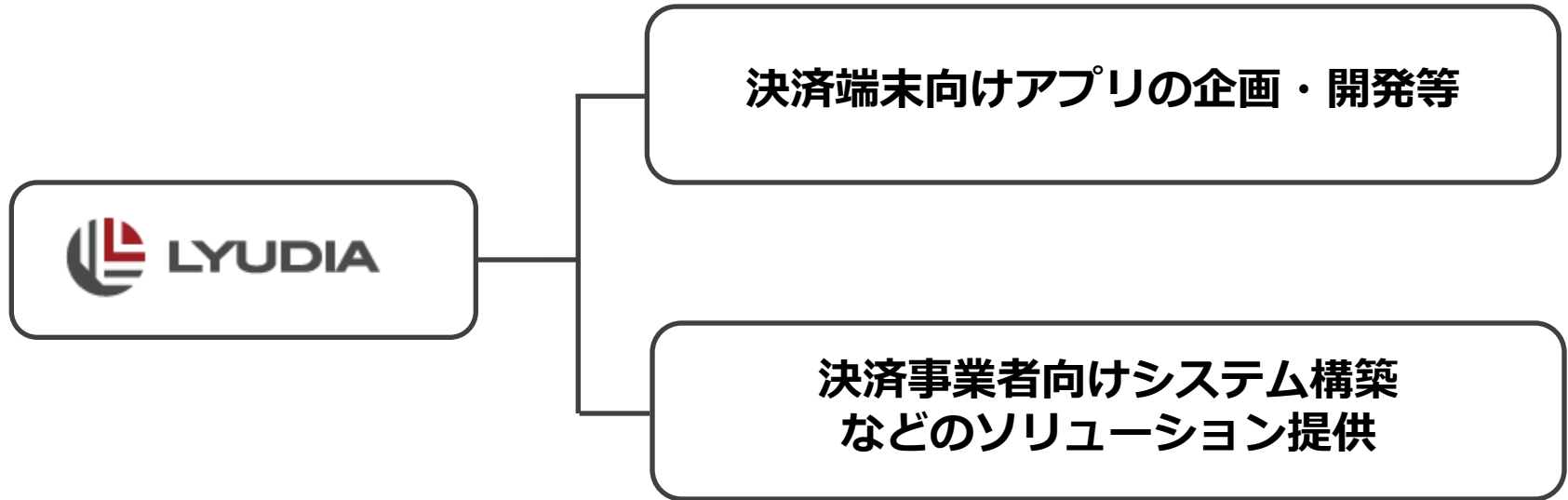


“ベストミックスエナジー”は  の商標です。

BroadBandTower, Inc.

⑤ 決済事業の本格参入

◆ 新会社の事業概要



今後大きく成長が見込まれるEコマース決済やモバイル決済
の分野において決済インフラサービスを提供。



LyudiaがフランスIngenico社の総代理店権を獲得

決済ソリューション：世界No1

- 参入市場 125カ国
- 端末数(active) 2,000万台
- 世界シェア（2012年） 28.1%

- 2012年度売上 約€14億

- 従業員数 4,500人
- 拠点 40カ国



企業ミッション

世界の決済市場を常にリードし、最先端のソリューションを提供し続ける。

世界の顧客例



端末ラインアップ

Biometric	Countertop	PinPad	Contactless	Signature Capture	Wireless	iSMP	PDA	Unattended
Bio 930G	iCT 220	iPP 220	iST 150	iSC 250	iWL 220		iPA 280	iUC 150
								
	iCT 250	iPP 280		iSC 350	iWL 250			iUC 180
								
		iPP 320			iWL 280			iUP 250
								
		iPP 350			iWL 350			iUR 250
								

⑥ iDC・クラウドサービス事業のグローバル展開

DRFortress社は、ハワイ州唯一のTier3レベルのデータセンターを有しており、米国のFortune誌にランキングされる世界有数の企業を顧客としています。

震災以降、企業顧客においてニーズが増している、日本国外へのDisaster Recovery（ディザスタリカバリ）や、グローバル展開を検討・実施している企業のインフラ構築・運用ニーズに応えます。DRFortress社は、米国ハワイ州にて最大規模のキャリアニュートラルなデータセンターを有するデータセンター事業者です。商用IXサービスを同州で唯一提供しています。



- ① コロケーション(ハウジング)
 - ・ 1/4 ラック、ハーフラック、フルラック/ケージ/専用ルーム
- ② クラウド(DRFcloud)
- ③ クラウドストレージ(DRFstorage)
- ④ 24 時間365 日リモートアシスト(英語)
- ⑤ IX サービス(DRFxchange)

⑦BBF、中国市場への進出

連結子会社BBF、中国上海市に完全子会社を設立

中国は、巨大な人口と購買力の上昇を背景にしたマーケットとしての存在感は、今後益々重要性を増してくるものと見込まれる。

BBFは中国に完全子会社を設立し、成長著しいマーケットとしての中国国内において、消費者の繊細な動向を直接把握できる環境を構築すると共に、BBF及びブランチ・アウトが日本で培った事業ノウハウを現地で直接展開することによる事業拡大を目指す。



当社 I R に関するお問い合わせ T E L : 03-5202-4813 (直)



<http://www.bbtower.co.jp/>

本資料は、2014年6月期第2四半期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2013年12月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証しまたは約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。